

作成日：2014年5月22日

## 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 :Padプラス多用途インク 赤V2

推奨用途 :産業用スタンプ用インク

会社名 :株式会社ハンコヤドットコム

住所 :大阪市西区靱本町1-13-1 ドットコムビル

電話 :06-6225-2110

輸入元 :株式会社ユニオンコーポレーション

住所 :大阪府吹田市南金田2-26-17

電話 :06-6369-2711

製品番号(SDS NO) :HN1042RD-1

## 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体:区分 3

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(麻酔作用)



注意喚起語:警告

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

強い眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

物理的及び化学的危険性

燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物質

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管法政令番号
プロピレングリコールモノエチルエーテル	60-70	1569-02-4	-
ヘキシレングリコール	10-20	107-41-5	-

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

EUリサイクル指令関連情報

家庭用電化製品、IT/遠距離通信機器、消費者用機器、照明器具、電子/電気工具、玩具/レジャー/スポーツ用具もしくは自動販売機用途に使用される本製品には

0.1 wt% を超えるPb, Hg, Cr(VI), PBB, PBDE もしくは 0.01 wt% を超える Cd を含有していません。

---

#### 4. 応急措置

##### 一般的な措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。  
暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受ける。

##### 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
気分が悪い時は、医師に連絡する。

##### 皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗う。  
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当を受ける。

##### 目に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。  
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当を受ける。

##### 応急措置をする者の保護

医師にその容器またはラベルを見せる。

---

#### 5. 火災時の措置

##### 適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用する。

##### 不適切な消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。

##### 消火を行う者の保護

消火作業者は適切な保護具を着用する。

---

#### 6. 漏出時の措置

##### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

適切な保護具を着用する。  
着火源を取除くとともに換気を行う。

##### 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

##### 回収、中和 ならびに 封じ込めおよび浄化の方法/機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

##### 二次災害の防止策

関係者以外の立ち入りを禁止する。  
着火源を取除くとともに換気を行う。

---

#### 7. 取扱いおよび保管上の注意

##### 取扱い

##### 技術的対策

##### (取扱者の暴露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避ける。  
熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざける。ー禁煙。  
容器を接地する/アースをとる。  
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用する。  
火花を発生させない工具を使用する。  
静電気放電に対する予防措置を講ずる。

##### 安全取扱い注意事項

屋外または換気の良い場所でのみ使用する。  
保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

##### 配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

- 容器を密閉する。
- 涼しい所に置く。
- 日光から遮断し、換気の良いところで保管する。
- 容器包装材料
- 他の容器に移し替えてはならない。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

職業暴露限界値、生物学的限界値等の管理指標

許容濃度

(ヘキシレングリコール)

ACGIH(1974) STEL: 上限値 25ppm (眼および上気道刺激)

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

保護具

呼吸器の保護具

換気が十分でない場合は、呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

目の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗う。

この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 :液体

色 :赤色

臭い :溶剤臭

pH :データなし

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点 :132°C

引火点 :35°C

自然発火温度 :255°C

蒸気圧 :10hPa(20°C)

比重/密度 :1.007

粘度 :46 sec. DIN 4 cup

溶解度

水に対する溶解度 :不溶

---

## 10. 安定性及び反応性

安定性

常温常圧で安定

避けるべき条件

衝撃、摩擦、火気またはその他の着火源

---

## 11. 有害性情報

物理的、化学的および毒性学的特性に関係した症状

急性毒性

経口毒性成分データ

(プロピレングリコールモノエチルエーテル)

4400 mg/kg (JPMA第5版)

#### 局所効果

皮膚腐食性/刺激性成分データ

(ヘキシレングリコール)

ラビット 465 mg open ; MILD 465 mg/24H ; MODERATE 500 mg/24H ; MODERATE

眼に対する重篤な損傷・刺激性

眼損傷性/刺激性成分データ

(ヘキシレングリコール)

ラビット 93 mg ; SEVERE

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

催奇形性データなし

発がん性データなし

生殖毒性データなし

短期暴露による即時影響、長期暴露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性(単回暴露区分3 気道刺激性)

(プロピレングリコールモノエチルエーテル) 気道刺激性 ( Patty 5th, 2001 )

(ヘキシレングリコール) 気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

特定標的臓器毒性(単回暴露区分3 麻酔作用)

(プロピレングリコールモノエチルエーテル) 麻酔作用 ( Patty 5th, 2001 )

(ヘキシレングリコール) 麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001)

吸引性呼吸器有害性データなし

その他情報

この調合製品自体のデータは得られていない。

---

## 12. 環境影響情報

環境有害性

水生毒性

地下水などの水流に入った場合には、水生生物などの環境へ作用を及ぼす。

(ヘキシレングリコール)

魚類(ヒメダカ) LC50 > 100mg/L/96hr (環境省, 1997)

水溶解度

(ヘキシレングリコール)

100 g/100 ml (PHYSROP Database, 2005)

(プロピレングリコールモノエチルエーテル)

36.6 g/100 ml (25 C) (ICSC, 2004)

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

(ヘキシレングリコール)

log Pow=0.58 (ICSC, 2003)

(プロピレングリコールモノエチルエーテル)

log Pow=0.3 (ICSC, 2004)

---

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

この物質は有害廃棄物として処理する。

汚染容器および包装

容器は有害廃棄物として処理する。

廃棄物処理法

特別管理産業廃棄物: 廃油

---

#### 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 :1263

クラス :3

容器等級 :III

品名(国連輸送名) :塗料

指針番号 :128

海洋汚染物質

海洋汚染防止法

有害液体物質(Z類):ヘキシレングリコール

---

#### 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

別表第1 危険物(第1条、第6条、第15条関係)

危険物・引火性の物(30℃ ≤ 引火点 < 65℃)

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9):

ヘキシレングリコール

有機溶剤中毒予防規則に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

第4類 引火性液体第2石油類非水溶性液体 危険等級 III

船舶安全法

引火性液体類

航空法

引火性液体

化審法に該当しない。

適用法規情報

この物質に関する貴国又は地方の規制に関する調査は貴社の責任で処理願います。

---

#### 16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (4th ed., 2011), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 17th edit. UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (reg.(EC) No 1272/2008)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2011 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html>

JIS Z 7253 (2012年)

Supplier's data/information

責任の限定について

この製品安全データシートは、製造者からの情報を元に編集したものであり、この製品の安全な使用と取り扱いのために必要な注意事項をはじめ、危険性に関する情報を記載し、関係者に周知するためのものである。本データシートは、この製品が目的とする使用における健康、安全および環境問題に関する手引きであり、使用に際しての技術的性能を保証するものではない。また、このデータシートに記載された情報は、現在知りえた情報であり、その正確性、信頼性または完全性を保証するものではない。この使用および廃棄に際しては、適用を受ける法規を確認し遵守することが必要である。また、各注意事項は通常的な取扱いを対象にしたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点に配慮が必要である。この製品を他の目的に使用してはならない。

この情報は、私どもの知識の及ぶ限りにおいて正確ですが、当社は内容の正確性または完全性について、

何も責任を取ることはできません。すべての材料を適当に使用する最終的決定の責任はユーザーのみのものです。すべての材料には、未知の危険性があり、取扱いに注意が必要です。ここには特定の危険性について記載してありますが、これ以外の危険性が存在しないことは保証できません。

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識および経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。